



創立87周年

武の子

かしこく うつくしく たくましく
(since 1969)

鹿児島市立武小学校 学校だより
〒890-0045 tel099-255-6136
鹿児島市武1丁目35番31号
<http://www.keinet.com/takes/>

11月号

児童数
599名
学級数
24学級

令和5年11月

12月10日は世界人権デー

学校長 杉木 正一郎

12月10日は「世界人権デー」です。この「世界人権デー」は、第二次世界大戦の終戦から間もない昭和23年12月10日の国連総会において「世界人権宣言」が採択されたことを記念して定められました。人間の尊厳の回復のために力を注ぐとともに、二度と戦争を引き起こすことがないようにとの強い決意の表れでもありました。制定されてから75年余り経ちますが、いまだに地球上から戦争はなくなり、ニュースなどでは、人々の人権が無視され、目を覆う惨劇が繰り返される様子が放映されています。子供たちも目にしていることでしょう。

私たちの社会には、部落差別をはじめとして、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人等に関する人権問題が依然として存在しています。また、現代社会は人々の多様性が尊重される中で、他者に対する偏見や差別など新たな人権問題も生じてきています。

文部科学省中央教育審議会の答申の中で、子供たちに自分で考える力を身に付けさせる教育の重要性について、「これからは、国際的視野をもち、個人や社会の多様性を尊重しつつ、他者と共働して課題解決を行う人材の育成が大切である。」ということが述べられています。考えが一つではない多様化の時代においては、社会が抱える課題の解決について自分で考え、課題の本質を見抜き、いろいろな選択肢を用意して、その中から最もよいと思われる解を導き出していく力が求められています。どんなにAIが発達しようと、社会のすべての課題解決は最終的には人と人との対話・交流、そして決断のなかでしか行われません。お互いが知恵を絞り、選択肢を出し合い、最適な解を実行に移す行動力が求められます。

人権問題について考えていくために、まずは子供たちに自分自身にも関わりのあることとして関心をもたせ、正しい知識を蓄えさせることが必要となります。本校では年間を通して人権をテーマにした学習活動の実践を進めるとともに、11月を「校内人権月間」としています。人権擁護委員を招いて「思いやりの心を育てる人権教室」を開催したり、“自分のことをもっと好きになろう、友達のことをもっと知ろう”のテーマで、子供たちが「ほめほめカード」を書いたりしました。これは自分自身のよさ、周りのお友達のよさに気づき、自己肯定感を高め、望ましい人間関係を築くことにつながっています。

「ほめほめカード」思いっきり自分をほめてみよう（1年生）

はやおきができる 字がきれい なかまはずれにしない ひとにやさしくする
けんかをしてもすぐなかなおり おかたづけがじょうず おてつだいをがんばる
きゅうしょくをのこさない むしにくわしい あそびでともだちにやさしくできる

P T Aで取り組んでいる「ほめ日記」は、子供が日記に自分のよいところを書き、それにおうちの人や担任からコメントをしてもらうという三者一体の取組です。子供自身が自分のよいところに気付いている、そしてそれを周りの人も認めてくれているということは、子供の自己肯定感を高め、自信をもって明るく生活できる子供の育成につながります。12月は、皆さんもぜひ人権について考えてみてください。子供さんともお話をしてみてください。